

図37

薬剤耐性変異の遺伝子解析

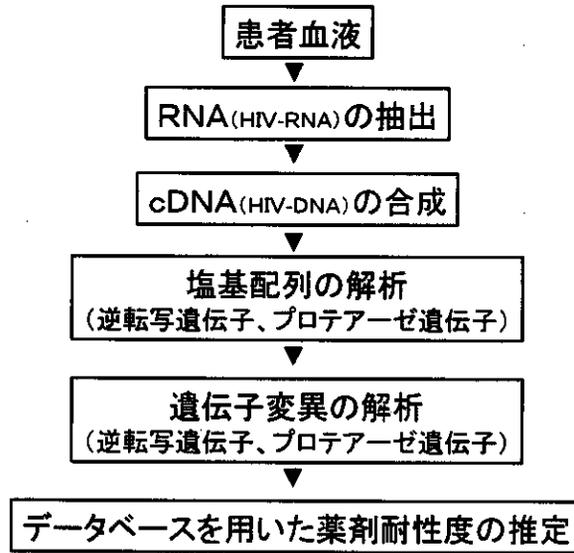


図38

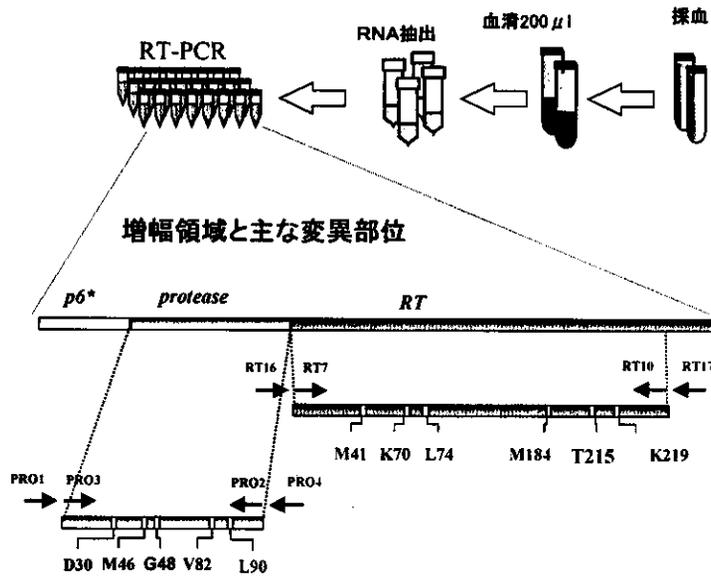
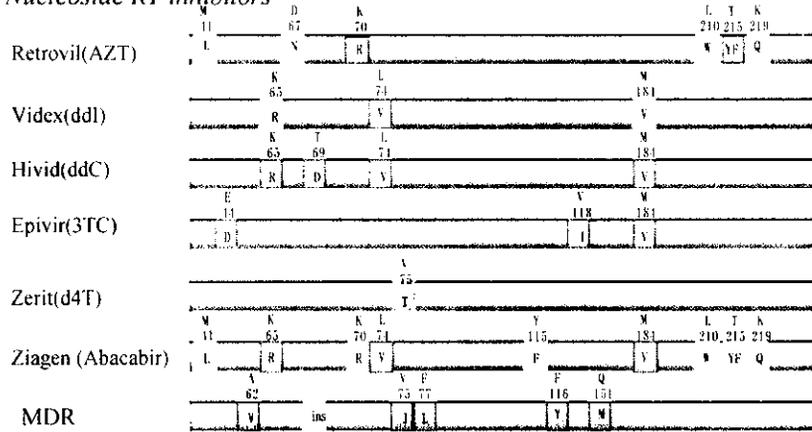


図39

逆転写酵素阻害剤に対する耐性変異

Nucleoside RT inhibitors



Non-Nucleoside RT inhibitors

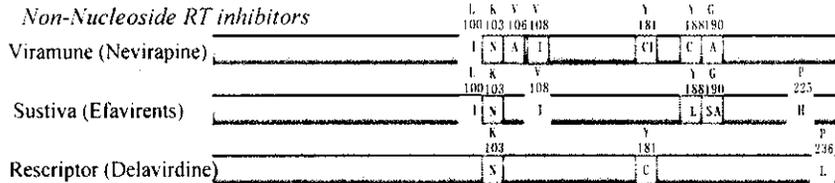


図40

プロテアーゼ阻害剤に対する耐性変異

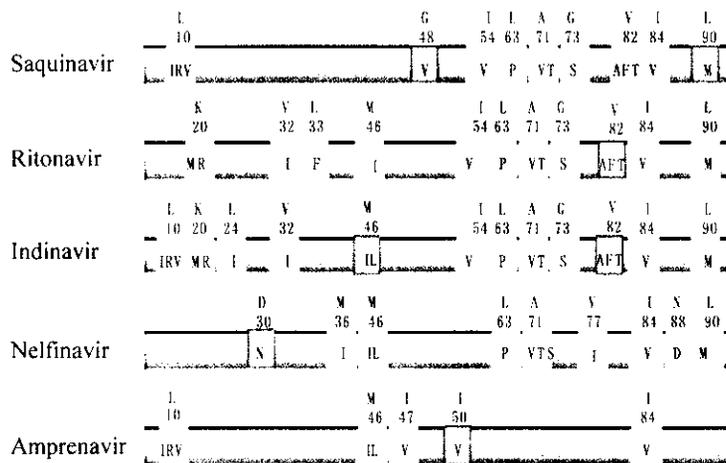


図41

バーチャルフェノタイプ検査

薬剤感受性株

薬剤耐性株

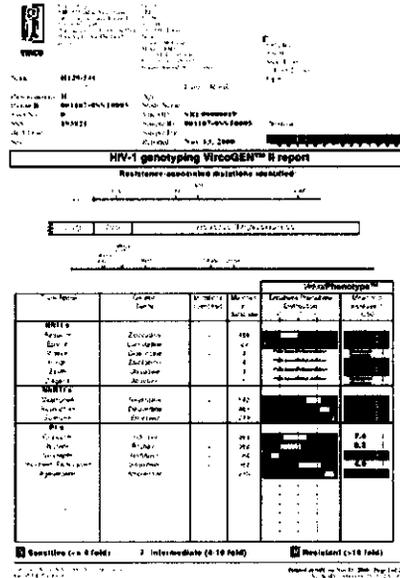
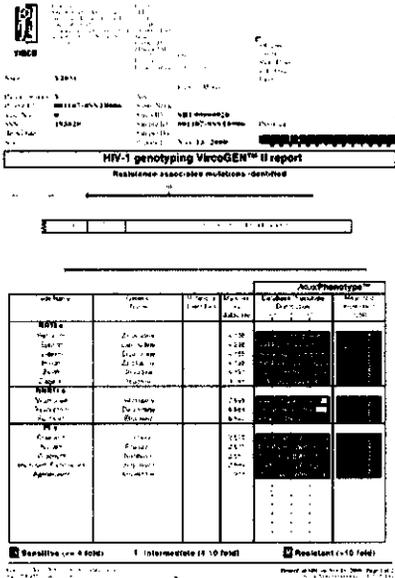
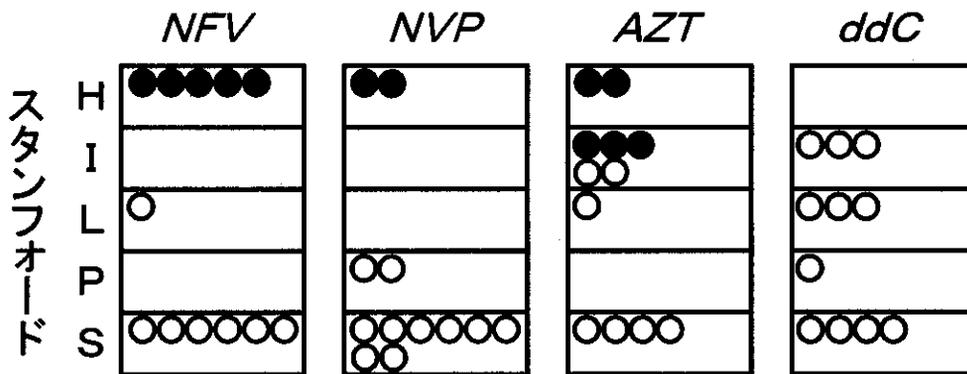


図42

ジェノタイプの薬剤耐性検査

(スタンフォードとVircoとの相関)



H: High-level resistance (<math>< 60</math> point)
 I: Intermediate resistance (30 - 59point)
 L: Low-level resistance (15- 29point)
 P: Potential low-level resistance (10- 14point)
 S: Susceptible (0- 9 point)

● 耐性 (Virco)
 ○ 感受性 (Virco)

図43

薬剤耐性検査(フェノタイプ法)

～検査法の開発と普及～

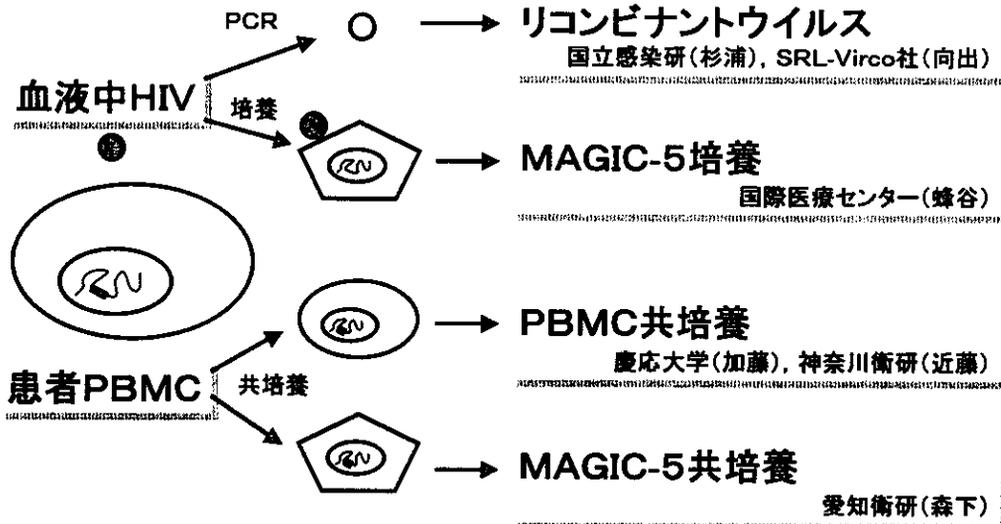


図44

血漿HIV-1 RNAレベルとウイルス分離との関係

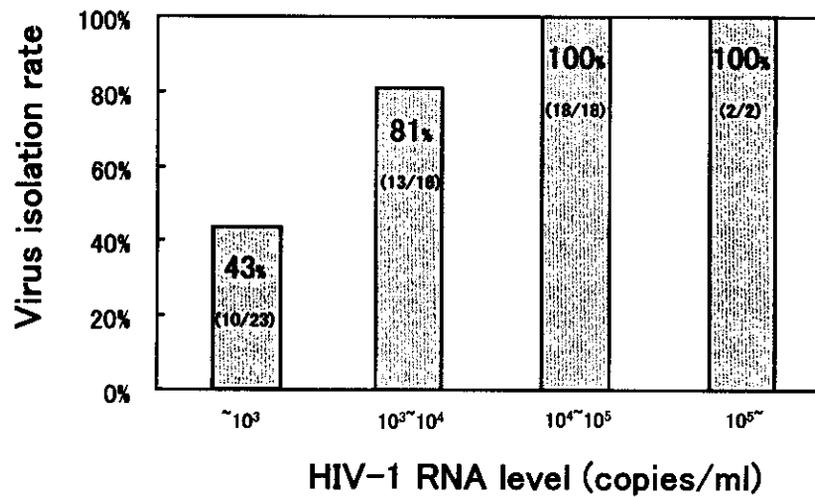


図45

薬剤感受性検査の概略

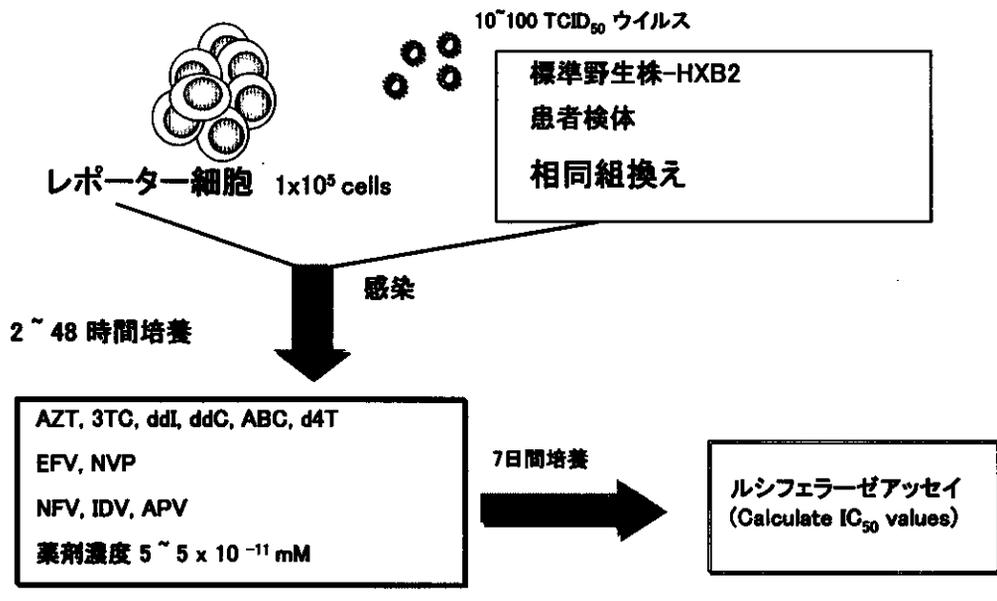


図46

リコンビナントウイルスを用いた薬剤感受性検査システムの構築

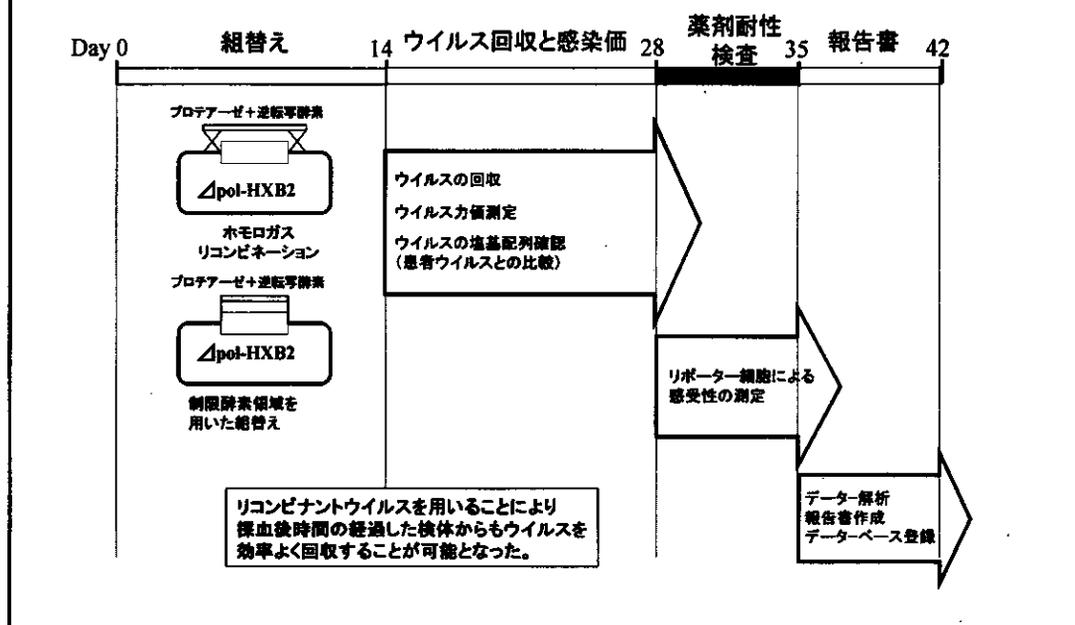
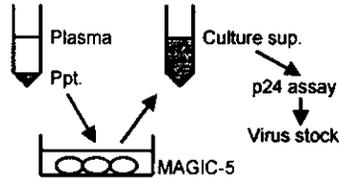


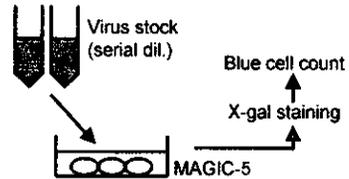
図47

MAGIC-5 assay のプロトコール

1. ウイルス分離



2. ウイルス価測定



3. 感受性試験

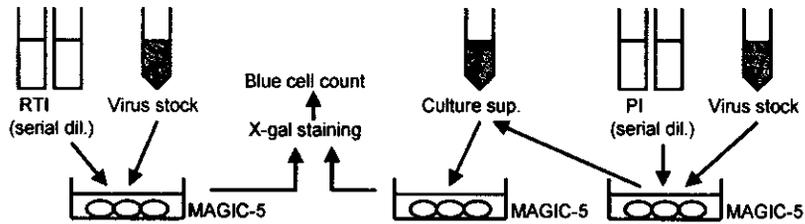


図48

SEAP法とBlue cell count法のFold resistanceでの比較

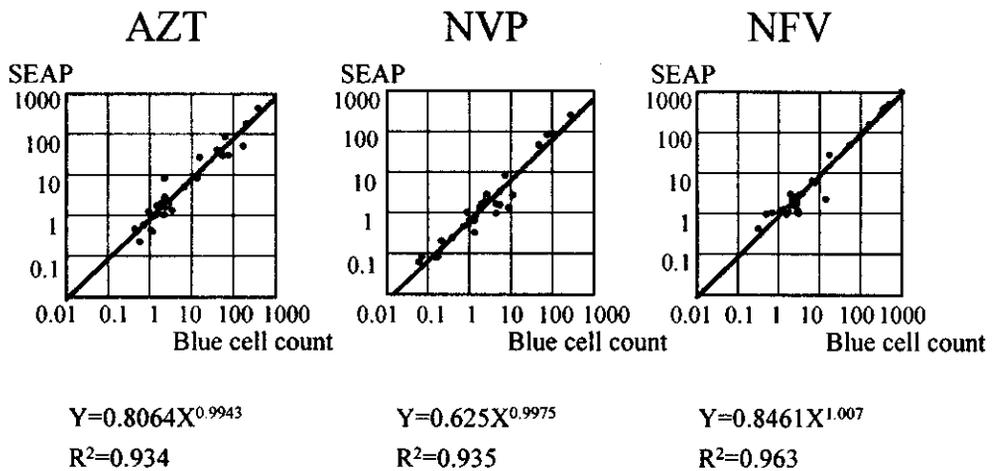


図49

フェノタイプ検査

薬剤感受性株

薬剤耐性株



Antivirogram® phenotype

Antivirogram® phenotype

Patient/Sample Details	Test Details	Physician Details
Patient No: 124510001 Sample ID: 7000 Patient ID: 124510001 Date Recd: 10/23/2001 Gender: M	Sample Type: PB Collection Date: Feb 5, 2001 Location: 1600 001 0002 Report Date: Feb 23, 2001 Spec ID: M033721 LAB: 0000000000000000	Phys. No.: 1-6-50 Shinjuku, Bldg 404 1600 001 0002

Patient/Sample Details	Test Details	Physician Details
Patient No: 124510004 Sample ID: 8128 54 Patient ID: 124510004 Date Recd: 10/23/2001 Gender: M	Sample Type: PB Collection Date: Feb 5, 2001 Location: 1600 001 0002 Report Date: Feb 23, 2001 Spec ID: M033720 LAB: 0000000000000000	Phys. No.: 1-6-50 Shinjuku, Bldg 404 1600 001 0002

Drug	Susceptibility	Fold change at IC ₅₀	Ref
AZT	0.0000000000000000	0.000000	
ddI	0.0000000000000000	0.000000	
ddC	0.0000000000000000	0.000000	
d4T	0.0000000000000000	0.000000	
3TC	0.0000000000000000	0.000000	
ABC	0.0000000000000000	0.000000	
NVP	0.0000000000000000	0.000000	
RPV	0.0000000000000000	0.000000	
DLV	0.0000000000000000	0.000000	
IDV	0.0000000000000000	0.000000	
NFV	0.0000000000000000	0.000000	
SQV	0.0000000000000000	0.000000	
RTY	0.0000000000000000	0.000000	
APV	0.0000000000000000	0.000000	

Drug	Susceptibility	Fold change at IC ₅₀	Ref
AZT	0.0000000000000000	0.000000	
ddI	0.0000000000000000	0.000000	
ddC	0.0000000000000000	0.000000	
d4T	0.0000000000000000	0.000000	
3TC	0.0000000000000000	0.000000	
ABC	0.0000000000000000	0.000000	
NVP	0.0000000000000000	0.000000	
RPV	0.0000000000000000	0.000000	
DLV	0.0000000000000000	0.000000	
IDV	0.0000000000000000	0.000000	
NFV	0.0000000000000000	0.000000	
SQV	0.0000000000000000	0.000000	
RTY	0.0000000000000000	0.000000	
APV	0.0000000000000000	0.000000	

図50

各種薬剤耐性検査(フェノタイプ検査)結果の比較(薬剤耐性株)

分離株 培養上清	耐性検査 検対機関	NRTI					NNRTI				PRI				
		AZT	ddI	ddC	d4T	3TC	ABC	NVP	RPV	DLV	IDV	NFV	SQV	RTY	APV
H197-12 AZT, 3TC, IDV, ddI 36000IC ₅₀ /ml	神奈川衛研	1.0	2.0	2.0	0.6	>100	ND	ND	ND	ND	4.0	4.0	2.2	>100	ND
	国際医療センタ-	4.0	1.0	1.0	2.4	>100	ND	0.4	ND	ND	14.0	21.0	2.4	100	ND
	慶応大学	1.0	0.4	0.3	2.1	>100	ND	2.7	ND	ND	2.0	27.0	7.0	>100	ND
	Virco(P)	2.0	2.0	1.0	1.0	30	2.0	2.0	0.7	1.0	2.0	2.0	0.9	107	4.0
H129-54 ddI, 3TC, RPV, AZT, ddC, NVP, IDV, SQV 140000IC ₅₀ /ml	神奈川衛研	10.0	0.0	1.4	7.3	340	ND	ND	ND	ND	1.0	170	5.0	1.0	ND
	国際医療センタ-	1.0	2.0	1.0	4.1	>100	ND	7.0	ND	ND	0	0	0	0	ND
	Virco(P)	4.0	1.0	2.4	0.8	30	1.0	2.0	2.1	4.0	0	1.0	100	2.0	

検体名	R/T領域の変異	Pro領域の変異
H197-12	M41L, M184V, T215Y	V32I, M46I, I47V, L63P, A71V, V77I, V82A, L90M
H129-54	M41L, E44D, D67N, T69AD, A98G, M184V, T215F	I110V, K20T, M36IV, M46IM, L63P, T74S, N88NS, L90M, I93L

図51

H197-12における薬剤耐性検査結果(AZT、SQV)の比較

分離株 (培養上清)	耐性検査 検討機関	方法 (特徴)	薬 剤	
			AZT	SQV
H197-12 AZT, 3TC, IDV, ddI 3600コピー/ml	神奈川衛研	PBMC/ MAGIC-5	11	3.2
	国際医療センタ-	MAGIC-5	4.8	3.4
	慶応大学	PBMC	1.5	7.5
	Virco(P)	リコンビナント	21.3	0.9
	Virco(VP)	シエノタイプ	4.8	5.4

RT領域の変異	PR領域の変異
M41L, M184V, T215Y AZT: T215Y, M184V	V32L, M46L, I47V, L63P, A71V, V77L, V82A, L90M SQV: L90M

図52

H129-54における薬剤耐性検査結果(NVP、SQV)の比較

分離株 (培養上清)	耐性検査 検討機関	方法 (特徴)	薬 剤	
			NVP	SQV
H129-54 d4T, 3TC, NVP, AZT ddC, NVP, IDV, SQV 14000コピー/ml	神奈川衛研	PBMC/ MAGIC-5	ND	5.9
	国際医療センタ-	MAGIC-5	7.9	*
	Virco(P)	リコンビナント	38.8	1.6
	Virco(VP)	シエノタイプ	3.6	4.0

*倍数を決定できなかった。

RT領域の変異	Pro領域の変異
M41L, E44D, D67N, T69AD, A98G, M184V, T215F NVP: 無し	L10V, K20T, M36IV, M46IM, L63P, T74S, N88NS, L90M, I93L SQV: L90M

図53

耐性度の比較 (Vircoとスタンフォード)

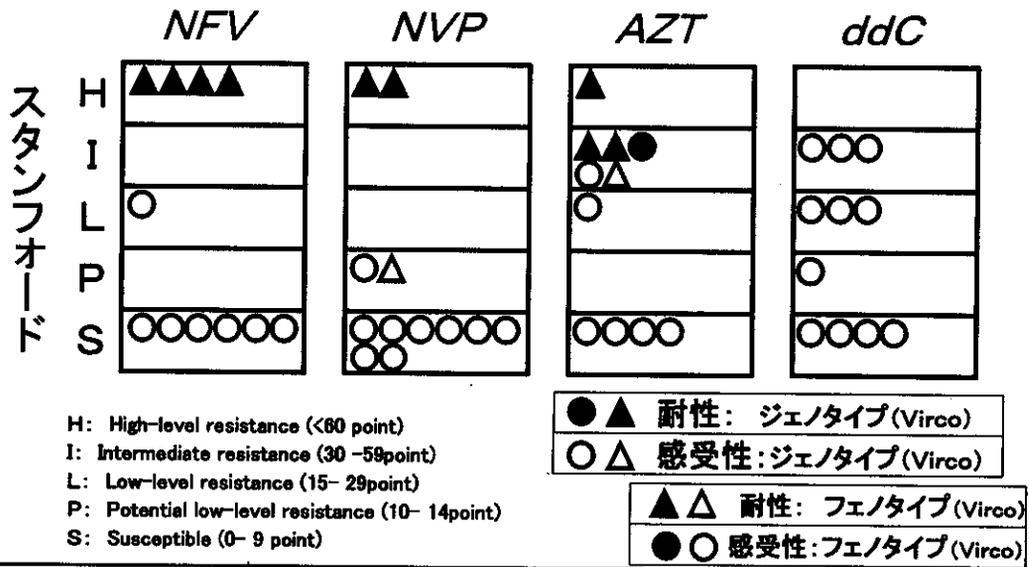


図54

VirtualPhenotypeとAntivirogramPhenotypeの相関

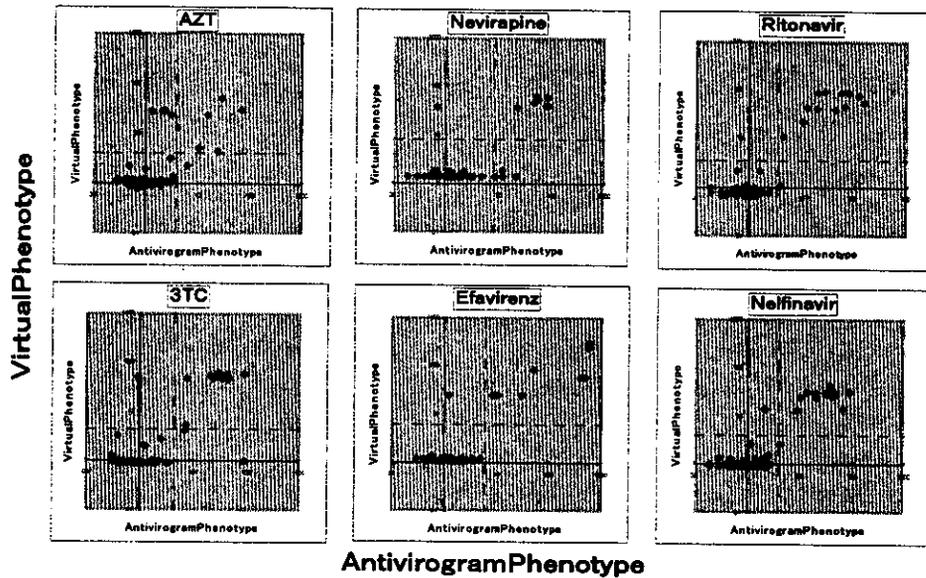
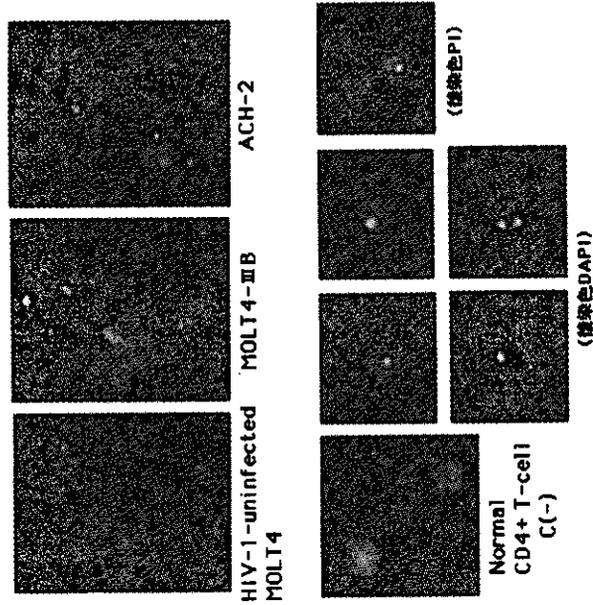


図56

PNA-ISH法によるHIV-1検出結果
 (Peptide nucleic acid probeを用いた *in situ* hybridization 法)

Fig.4 PNA-ISHによるHIV-1検出結果

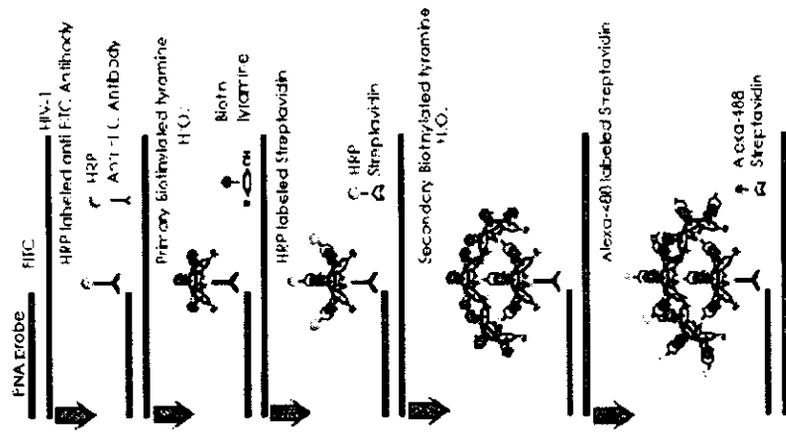


HIV-1感染者/AIDS患者CD4+ T-cell

図55

PNA-ISH法の原理図

(Peptide nucleic acid probeを用いた *in situ* hybridization 法)



保健所等無料HIV検査(15都道府県)の検査数と陽性数

	S.61	S.62	S.63	H.1	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	合計
北海道衛研 (全道)	1385	1414	1057	446	455	957	2264	1464	1003	1539	2170	1241	1394	1441	1482	1592	21304
仙台市衛研 (仙台市のみ)					23	73	1066	1179	779	594	724	469	622	554	577	636	7296
茨木衛研 (全県)	3	264 (1)	106 (2)	61	127	262 (13)	3296 (8)	2653 (9)	1597 (19)	1049 (8)	1239 (6)	857 (6)	1008 (3)	880 (6)	911 (4)	1830 (4)	16143 (89)
埼玉衛研 (全県)		1246 (1)	280	166	126	294	3807 (1)	4192 (1)	3069 (4)	2158 (3)	2971	1890 (1)	2176 (1)	1801 (3)	1760 (2)	3493 (4)	29429 (21)
千葉衛研* (全県 H.4~)		607	288	248	171	521 (1)	4915 (3)	4539 (5)	3809 (1)	2969 (3)	3475 (3)	2130 (5)	2486 (4)	1551 (3)	2344 (4)	3158 (3)	33211 (35)
東京都衛研 (全都)		8676 (1)	2348	1931 (1)	4020 (6)	3900 (6)	29382 (25)	26484 (21)	19571 (28)	13737 (24)	15145 (43)	11673 (55)	13337 (63)	13508 (66)	13892 (67)	18098 (93)	195702 (499)
神奈川衛研 (全県)		4794 (1)	1159	796	813	1438	12846 (2)	10840 (2)	8707 (7)	6554	6727	5704 (6)	6462 (7)	6032 (9)	5805 (10)	7717 (17)	86394 (61)
山梨衛研 (全県)		14	28	27	30	185	824	873	561	383	485	348 (1)	343 (1)	402 (2)	327	434 (2)	5264 (6)
愛知衛研** (全県 H.4~)		49	136	111	97	229	6404 (1)	7311 (1)	6022 (3)	4061 (4)	5346 (10)	3940 (6)	4086 (5)	3849 (7)	3579 (7)	6762 (20)	51982 (64)
福井衛研 (全県)			70	29	17	71	532	508	343	254	269 (1)	220 (1)	237 (1)	223	171	205	3149 (2)
大阪公衛研 (全府)	2937	5147 (2)	2236	1926	2541 (2)	3254	18121 (7)	12689 (4)	9124 (6)	9084 (4)	9296 (1)	5607 (4)	6495 (14)	5813 (5)	5167 (9)	8482 (25)	107899 (83)
兵庫衛研 (神戸市を除く)	74	8324	1822	1607	1236	1499	5069	7494	2512 (2)	3177	5080	2762 (1)	2775	3381 (1)	2008 (2)	3666 (1)	52486 (7)
広島衛研 (全県)		34	80	53	60	128	2511	1956 (1)	1624	1204	1431	886 (1)	1137 (1)	1049 (1)	1123 (1)	1170 (1)	14446 (4)
愛媛衛研 (全県)		156	85	82	56	64	665	925	611	466	507	421	457	457 (1)	452 (2)	403 (1)	5807 (4)
福岡保研 (全県)		1708	475	336	270	859	4952	5507	3562	2582	3761	1983 (3)	2372 (1)	2266 (4)	2241 (1)	2908 (1)	35782 (10)
合計	4399 (0)	32433 (6)	10170 (2)	7819 (1)	10042 (8)	13734 (20)	96654 (47)	88614 (45)	62894 (71)	49791 (46)	58626 (65)	40131 (90)	45387 (101)	43207 (109)	41839 (112)	60554 (174)	666294 (897)

* 昭和62年から平成3年までは千葉市を除く
 ** 昭和62年から平成3年までは名古屋市を除く

Ⅱ. 分担研究報告

1. 行政におけるエイズ対策としての HIV 検査体制(保健所)のあり方に関する研究

分担研究者 河原 和夫 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
環境社会医歯学系専攻医療政策学講座医療管理学分野)
研究協力者 桜井 賢樹 (財団法人 エイズ予防財団研修研究部)

研究要旨

保健所の HIV 事業への取り組みを分析し、相談・検査体制を改善するとともに、検査目的の献血者を減らし血液製剤の安全性を高める方策を提示することが本研究の目的である。

平成13年度の研究として全国の保健所に対する HIV 相談・検査業務の実態及び HIV 相談マニュアルの問題点等に関する調査を行った。その結果、保健所の立地条件による相談及び検査実績の差があること、保健所が使用している既存の HIV 関連マニュアルには種々の問題があることが明らかとなった。

本年度は、保健所の立地による相談・検査件数の差異とそれら立地特性を活かした HIV 業務の展開方法及び特に相談・検査実績が良好な保健所で使用されている HIV 業務マニュアルの分析を行った。その結果、人口10万人当りの HIV 相談・検査実績は昼夜間人口比率と正の相関を持つことが明らかとなった。また、各保健所が日々の HIV 事業に使用しているマニュアルの問題点については、全保健所ともほぼ同一の問題を指摘していた。

こうしたことから、オフィス街での相談及び検査体制の一層の充実が重要であると考えられるとともに、マニュアルについては指摘されている事項が全国共通の問題点であるとの認識のもと、速やかに改定する必要がある。

A. 研究目的

保健所の検査体制の問題点は単に保健所のみではなく、HIV を所管している行政システムそのものに問題がある。

保健所の機能の低下が語られて久しいが、特に HIV 検査・相談機能が低下している体制上の問題がどこにあるのかを解明するのが本研究の目的である。

B. 研究方法

昨年度実施した保健所に対する実態調査をもとに、人口10万人当りの HIV 相談及びスクリーニング件数と各保健所管内の昼夜間人口比率との関係を考察し、HIV 事業と保健所の立地特性とを明らかにした。また、相談及びスクリーニング検査件数の絶対数及び人口10万人当りの件数が多い、いわば HIV 事業に実績を有している各保健所が使用している業務マニュアルについて、それらの種類や問題点等について分析を行い、それらの今日的意

義や各マニュアルに基づいて日々の業務をこなす上での問題点の解明を試みた。

なお、統計処理は、SPSS10.0J for Windows98を用い、人口10万人当りの相談件数及びスクリーニング検査件数と昼夜間人口比率については2変量の相関係数を求めるとともに、使用マニュアルとマニュアルの問題点については多変量解析を行い、各々 $p < 0.01$ の場合有意差ありとした。

(倫理面への配慮)

質問項目には個人情報に関する事項は含まれていない。特定の個人等に不利益を及ぼすことはなく、倫理面では全く問題がないと考える。

C. 研究結果

調査対象594保健所のうち、511保健所から回答があった(回収率は86.03%)が、そのうち平成7年から11年の過去5年間を通じて相談件数及びスクリーニング検査件数の記載が全くない27保健所を除外した485保健所(調査対象保健所の81.6%)について分析を行った。

また、年間の相談件数及びスクリーニング検査件数は、過去の各件数の記載がある年から算出した平均値を使用した。

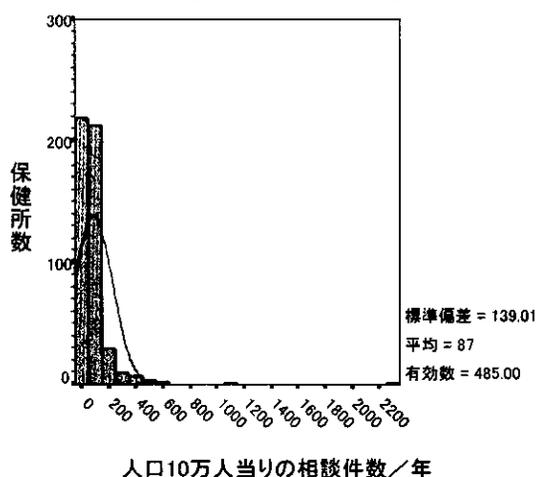
(1) 人口10万人当りの年平均相談件数

表1及び図1に示すとおりである。

表1

保健所数	485
平均値	86.8
標準偏差	139.0
最大値	2292.8
最小値	2.9

図1 人口10万人当りのHIV相談件数/年



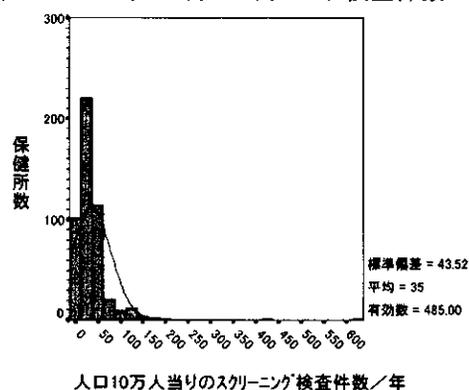
(2) 人口10万人当りの年平均スクリーニング検査件数

表2及び図2に示すとおりである。

表2

保健所数	485
平均値	35.5
標準偏差	43.5
最大値	622.9
最小値	0.4

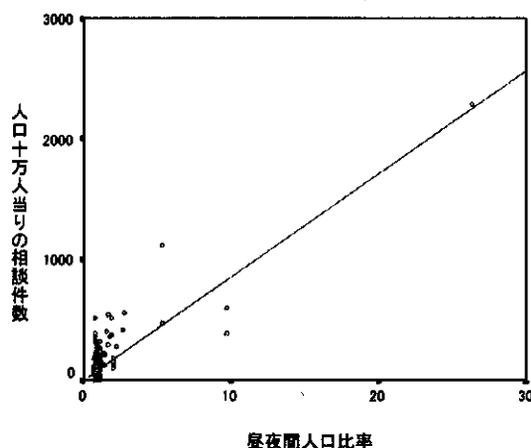
図2 人口10万人当りのスクリーニング検査件数/年



(3)人口 10 万人当りの年平均相談件数と昼夜間人口比率との関係 (図 3)

相関係数 : $r=0.82$ ($p<0.01$)

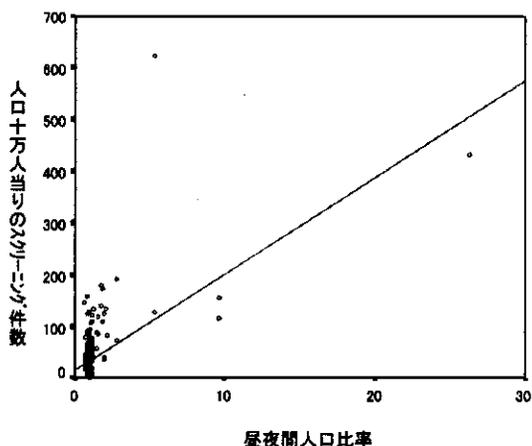
図 3 人口 10 万人当りの相談件数と昼夜間人口比率との関係



(4)人口 10 万人当りの年平均スクリーニング検査件数と昼夜間人口比率との関係 (図 4)

相関係数 : $r=0.58$ ($p<0.01$)

図 4 人口 10 万人当りのスクリーニング検査件数と昼夜間人口比率との関係



(5)単位人口当たりの総相談件数と既存のマニュアル等の問題点との関係

人口 10 万人当りの総相談件数の多少をほ

ぼ 4 等分すると、

0-30 件未満/年、30-55 件未満/年、55-101 件未満/年、101 件以上/年に等分できる。

これら相談件数群と担当者が指摘している HIV 既存マニュアルの問題点との関係については、

①内容が未更新である、②陽性者等への対応事例が充実していない、③STD 等関連情報が充実していない、④関連機関・組織情報が充実していない、⑤クイックマニュアルが作成されていない、⑥地域特性を反映していない、⑦外国語資料の作成が不十分である、そして⑧その他(受け入れ態勢が整備されていない)などが指摘されている。

これらの指摘されている問題点に対する認識は保健所による差異は「③の STD 等関連情報が充実していない」との回答は、単位人口当たりの相談件数が 55-101 件/年の保健所で有意に多かった($p<0.01$)。他の項目については単位人口当たりの総相談件数の多少とは無関係ですべての保健所が共通に認識している問題点であった($P>0.01$)。

(6)単位人口当たりのスクリーニング検査件数と既存のマニュアル等の問題点との関係

これについても(5)と同様に、0-14 件未満/年、14-25 件未満/年、25-43 件未満/年、43 件以上/年に 4 等分し、検査件数の多少が指摘されている既存マニュアルの問題点との関係を調べたが、いずれの問題点についても検査件数の多少とは無関係で保健所が一様に抱いているものであった($p>0.01$)。

D. 考察

保健所の相談・検査件数は絶対数(昨年度報告)でも人口 10 万人当りで見ても全体としては低調な水準に位置するとともに、多くの相談・検査実績をあげている所とそうでない所がある。いわば保健所間の格差が認められる。

また、地域特性を知る指標のひとつである「昼夜間人口比率」と人口10万人当りの保健所のHIV相談・検査実績は強い正の相関が認められた。つまり、昼夜間人口比率が高いオフィス街などの都市化が進んでいる保健所でのHIV相談・検査実績が極めて高いことが明らかになった。この事実は、大都市部の保健所を訪れる者は管轄地域の住民にまさる形で大都市に日中流入している勤労者などが保健所を利用していることを意味しているものと思われる。

単位人口当たりの総相談件数／年が55-101件と平均よりやや多い保健所で「STD等関連情報が少ない」と指摘する割合が有意に高かったことを除き、既存マニュアルについて保健所が共通の問題意識を有しているこ

とが明らかになった。

E. 結論

大都市部でのHIV相談・検査の利用者が居住地域の住民以外の日中の流入者であることが考えられ、また、これらの利用者総数は全国的にもかなりの割合を占めることから、大都市流入層を対象にした利便性の高いHIV事業の展開が必要であろう。現在のような全国一律体制ではなく、ターゲットを絞った政策の展開が望まれる。

また、マニュアルの改訂については、指摘されている問題点を主として速やかに解決していく必要がある。

2. HIVスクリーニング検査の機能を強化するための研究

2-1. ホームページ「HIV 検査・相談マップ」作成と利用状況の解析

嶋 貴子 (神奈川県衛生研究所ウイルス部)

清水茂徳 (エイズ・ライフ・プロジェクト)

堀 成美 (東京都立駒込病院感染症科)

草田 央 (エイズ・ライフ・プロジェクト)

渡部享宏 (Campus AIDS Interface)

今井光信 (神奈川県衛生研究所ウイルス部)

研究概要

HIV 検査に関する情報を詳しく、より多くの人に提供することを目的としたホームページ「HIV 検査・相談マップ」(<http://www.hivkensa.com>) の作成とその利用に関する研究を行った。2001 年 9 月 1 日にインターネット版ホームページを正式に開設し、現在は東京、神奈川、大阪、愛知、千葉の保健所等検査機関と、HIV 抗体迅速検査実施機関である民間 STD クリニックの情報を掲載している。上記以外の地域の情報については、各自治体 HIV 検査情報ホームページとリンクし、全国自治体検査情報として提供することで、全国の HIV 検査情報を網羅している。開設から 6 ヶ月間で約 73000 件、現在では 1 日平均 600 件前後のアクセスがあり、HIV 検査情報を提供する広報媒体として、有効に活用されていることが分かった。来年度は、全国の政令指定都市の全てについて、マップ付き詳細情報の追加掲載を行うとともに、HIV 検査に関する解説ページや Q&A 集の作成を行い、内容をさらに充実させていく予定である。

目的

保健所等検査機関の HIV 検査情報を詳しく、より多くの人に提供することを目的としたホームページ「HIV 検査・相談マップ」を作成し、開設を行った。同時にホームページへのアクセス数の解析を行い、検査希望者に関心が高い検査方法、検査機関を調査することにより、検査希望者のニーズを把握するために研究を行った。

1. ホームページの作成および開設

保健所等検査機関の詳細情報を収集する

ために、各自治体エイズ相談・検査担当本課(東京都、東京都特別区、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市、相模原市、大阪府、大阪市、東大阪市、堺市、愛知県、名古屋市、豊橋市、豊田市、千葉県、千葉市)に情報提供依頼の文書と情報記入用紙一式(別添資料)を送付し、情報の収集を行った。また当研究班との共同研究で迅速検査を実施している民間 STD クリニックについても情報を収集した。民間 STD クリニックにおける迅速検査の実施状況については、当研究報告書(民間クリニックとの連携に

よる HIV 抗体迅速検査の試み) を参照して
いただきたい。収集した情報をもとに、イ
ンターネット版ホームページ
(<http://www.hivkensa.com>) と i モード版
ホームページ ([http://www.hivkensa.com
/i](http://www.hivkensa.com/i)) の作成を行った。今回はインターネッ
ト版ホームページを中心に報告する。ホー
ムページの特色、特徴を以下に挙げた。

- ① トップページに「保健所無料検査」、
「土曜・日曜・夜間検査」、「即日 30 分検
査(迅速検査)」、「ウイルス検査(NAT)」、
「他の性感染症も検査」と 5 つのカテゴ
リーを設け、カテゴリー検索が出来るよ
うにした(図 1、図 2)。
- ② トップページの地図検索から地域(東
京、神奈川、大阪、愛知、千葉)を選択
すると、検査機関がスポットされた全県
地図ページに移る。検査機関がどこの地
区にあるかを一目で分かるようにした
(図 3)。また全県地図上で沿線検索(図
4)や検査時間帯検索も行えるようにした。
- ③ 各検査機関の詳細情報ページには、機
関の連絡先、抗体検査日時とともに、最
寄駅から検査機関までの道順が点線で表
示される、分かりやすい地図を掲載した
(拡大表示も可能)(図 5、図 6)。また
HIV 抗体検査を受けるまでの手順を詳し
く記載した(図 7)。

2001 年 9 月 1 日に東京、神奈川の情報を
掲載しホームページ「HIV 検査・相談マッ
プ」を正式に開設した。開設と同時に
「yahoo!」等 8 ヶ所のサーチエンジンへの
登録、NGO 関係団体約 50 ヶ所へ通知を行っ
た。順次、マップ付詳細情報の追加掲載を
行い、掲載地域の拡大を行った。現在は東
京、神奈川に加え、大阪、愛知、千葉の保
健所等検査機関と、HIV 抗体迅速検査実施
機関である民間 STD クリニックの情報を掲
載している(図 8)。全国の HIV 検査機関の

情報を網羅するため、上記以外の地域の情
報については各自治体の HIV 検査情報ホー
ムページとリンクし、「全国自治体検査情
報」として掲載している。

このホームページを広く紹介する目的で、
日赤との連携により、東京都赤十字血液セ
ンター管内において、ホームページアドレ
スを記載した自己申告用紙を献血者に配布
している(図 9)。また一般の人に配布する
目的で、ホームページアドレスと HIV に関
する情報(まめ知識)を印刷した「宣伝カ
ード」の作成を行った(図 10)。

2. アクセス数の集計および解析

ホームページへのアクセス数の集計およ
び解析は「JS ACCESS ANALYZER Ver. 1.01」
を用いて行った。日別、曜日別、時間別、
検索キーワード、アクセスページの集計結
果をもとにホームページの利用状況、アク
セス者が関心を持っている検査方法、検査
機関等について、さらに詳しい解析を行っ
た。

2001 年 9 月 5 日～2002 年 2 月 28 日ま
でのアクセス数の解析結果を以下にまとめた。

約 6 ヶ月間の総アクセス数は 72739 件で
あった。日別のアクセス数推移を見てみる
と、開設当初の 1 日平均アクセス数は 100
件前後であったが、9 月 20 日に検索エン
ジンである「yahoo!」に登録されたことで、
約 300 件に増加した。11 月 29 日には、NHK
ニュース 10 で「民間クリニックの迅速検査
導入」についての特集が放映され、その中
で当ホームページアドレスが紹介されたこ
とにより、1 日で 1175 件のアクセスを記録
した。正月休みには一時的にアクセス数が
減少したが、その後は 1 日平均 600 件にま
で増加し、確実にアクセス数を伸ばしてい
る(図 11、図 12)。

曜日別では、月曜日から木曜日までのア
クセス数が週の後半に比べ、若干多い傾向

にあった(図13)。

時間別では、夜中の0時頃にひとつの山があるが、深夜、早朝を除いてはどの時間帯にもかなりのアクセスがあった(図14)。

ホームページ検索に使われているキーワードは、2月の結果では「エイズ検査」が1043件で最も多く、次は「HIV検査」の324件であった。

トップページにある5つのカテゴリー「保健所無料検査」、「土曜日曜検査」、「即日30分検査(迅速検査)」、「ウイルス検査(NAT)」、「他の性感染症も検査したい」のどれを選んで検索を行ったかをカウントすることで、アクセスした人がどの検査方法に関心を持っているかについて調べた。「即日30分検査(迅速検査)」が圧倒的に多く、次に「夜間土日検査(東京都)」、「保健所無料検査(東京都)」、「ウイルス検査(NAT)」、「夜間土日検査(全検索)」の順であった(図15)。

各検査機関の詳細ページへのアクセス数を上位10件まで表示した(図16)。迅速検査を行っている民間STDクリニック5ヶ所が全て入っていた。南新宿検査・相談室のような自治体特別無料検査機関(平日夜間、土日に無料検査を実施している機関)が4ヶ所入っていた。また一般的な保健所型(平日昼間)のHIV検査を行っている新宿区西新宿保健センターも上位に入っていた。

考察

「HIV検査・相談マップ」ホームページを作成し、インターネット上に開設を行った。開設から6ヶ月間で約73000件のアクセスがあり、最近では1日平均600件前後と着実にアクセス数が増加しており、検査希望者への情報提供手段として有効に機能しているものと思われる。

トップページの5つの検査方法カテゴリー検索結果より、関心の高い検査方法は「即

日30分検査(迅速検査)」であり、検査機関詳細ページアクセス数も、迅速検査を導入している民間STDクリニックが多いことが分かった。このことから、迅速検査は検査希望者にとってニーズが高い検査法であることが分かった。また「夜間土日検査」のような、検査希望者が検査を受けやすい日時に、HIV検査を実施している検査機関についても関心が高いことが分かった。これらの結果をふまえ、今後のHIV検査体制の方向性について考えていく必要があると思われる。

多くの人が手軽にインターネット等の通信媒体を使用している現状において、ホームページは極めて有効な情報発信手段と言える。ただし一度開設したホームページを維持し、その有効性を高めていくためには、内容の更新、新規情報の掲載等、アフターケアが必要不可欠となる。来年度は、掲載情報の更新、現在マップ付き詳細情報ページを掲載していない政令指定都市7ヶ所(札幌市、仙台市、京都市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市)へのマップ付き詳細情報の追加、HIV検査に関する解説、Q&A集など新規ページの掲載により、さらに内容を充実させていくとともに、「献血自己申告用紙」「宣伝カード」を配布し、広くホームページを紹介していきたいと考えている。

図1 トップページ

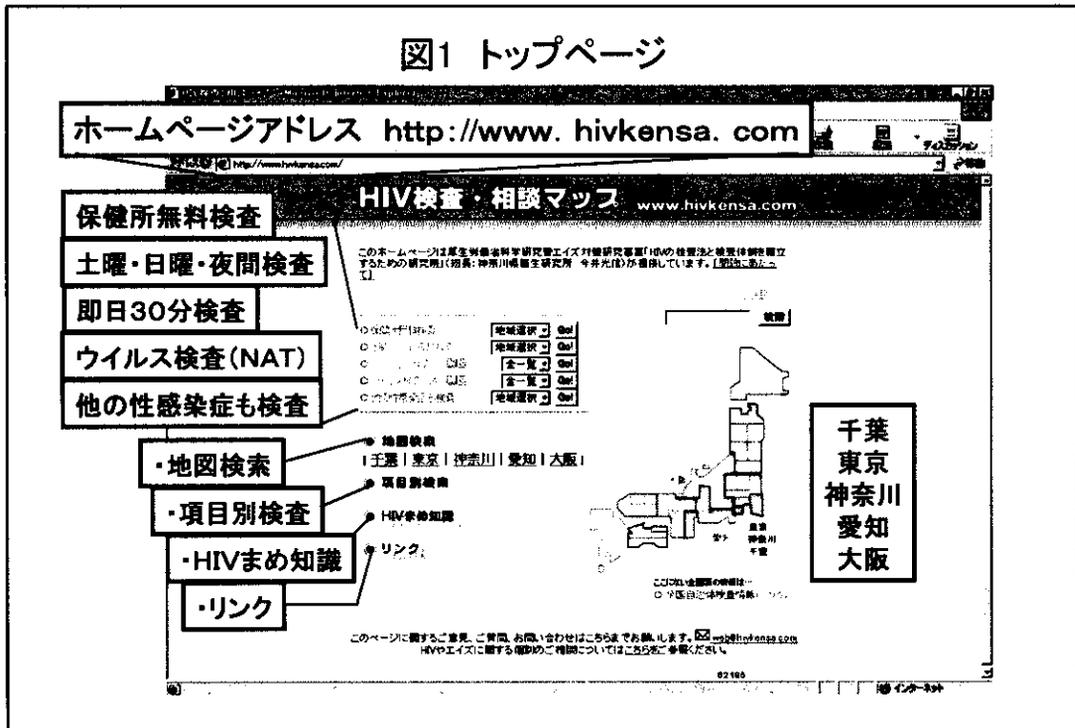


図2 即日30分検査(迅速検査)検索結果

HIV検査 TITLE SEARCH
相談マップ・地図検索・項目別検索・HIVまめ知識・リンク

検索結果一覧: 検索条件に該当したのは5件でした。
検査機関名をクリックすると詳細情報が表示されます。

NO.	検査機関名	所在地	最寄り駅	検査日時	予約の有無	結果	料金
1	北越産科医療センタークリニック	東京都 新橋区	大久保駅、JR有明線 新大久保駅、JR山手線	平日(午後) 夜間	予約の有無 電話で予約(月～金)	30分～2時間後 NAT結果までの 速報検	有料 ¥5,000～
2	酒井次郎先生クリニック(女性の心)	東京都 港区	六本木駅、日比谷線 新六本木江戸線	平日(午前) 平日(午後) 土曜 日曜 夜間	予約不要	30分(即日)	有料 ¥5,000～
3	医療法人社団 小松園クリニック	神奈川県 大和市	藤園駅、小田急線	平日(午前) 平日(午後) 土曜	予約不要	1週間～2週間後 検 30分(即日)	無料
4	高木町中央診療所	神奈川県 川崎市川崎区	川崎駅、JR東横線 京浜東北線	平日(午前) 平日(午後) 土曜	予約不要	30分(即日) 1週間～2週間後	無料
5	大塚診療所	大阪府 大塚市	東横田駅、地下鉄谷町線	平日(午前) 平日(午後) 土曜 夜間	予約不要	翌日 30分(即日)	無料